

大阪市立 住まい情報センター

おんじや

住まいのガイドブック

volume

103

2025年夏号

《特集》

## 大阪の近代集合住宅のはじまり

- ・大阪くらしの今昔館 news  
「対談:好きと熱意で一緒につくってきた落語大会  
-大阪くらしの今昔館 子ども落語大会の20年-」

大阪における博覧会のはじまり  
「第五回内国勲業博覧会明細図」

- ・大阪市ハウジングデザイン賞関連イベント  
受賞住宅見学会を開催しました!

・大阪市住まいのガイド  
借りる・買う・建てる・建て替える  
各種住宅施策のご案内

- ・トピックス  
誌面セミナー  
住まいの維持管理 住まいのリフォーム

〈今月の表紙〉

1932(昭和7)年に完成した大阪市営「北日東住宅」の1/75模型



特集

# 大阪の近代集合住宅の はじまり

大阪は近世から商都として発展し、多くの人口を抱えてきました。明治から大正期には近代化が急激に進み、人口がさらに増加。日清戦争の頃には紡績業が発展し、「東洋のマンチエスター」と呼ばれ、大正末期には「大大阪」時代を迎えました。

発展とともに顕在化したのが、都市問題でした。住宅不足や住環境の悪化を改善するため、大正時代の初期から大阪市はさまざまな住宅政策に取り組みました。鉄筋コンクリート造の集合住宅や月賦制の分譲戸建住宅を建設し、中には名住宅と呼ばれる近代集合住宅も生まれました。

大阪市の住宅政策やその背景について、また名住宅と呼ばれた特徴的な住宅について京都大学の中嶋節子さんに聞きました。



# 社会事業として取り組んだ先鋭的な住宅供給

なかじま せつこ  
中嶋 節子さん

## PROFILE

京都大学大学院人間・環境学研究科教授。博士(工学)、一級建築士。  
専門は都市史、建築史。公益社団法人大阪府建築士会副会長。「北畠住宅」や「下寺住宅」「北日東住宅」「南日東住宅」の調査に携わった。



## 急激な近代化と住宅問題

江戸時代の大阪は遊興都市、商業都市として発展してきた。明治に入ると急速な工業都市化が進み、人口も爆発的に増加していく。

市街東部には軍需工場地帯があり、明治時代中期以降は市街西部にも鉄工所や紡績工場が立ち並び始めた。近世において大坂三郷と呼ばれた市街地の周縁地域である、西成、都島、大正付近などが工業地帯となった。

工場の周辺には職工用の住宅が建てられたが、急激な人口増により住宅は不足し過密化もみられた。地域の拡張やインフラ整備も進み、近代都市と変化していった一方で、環境の悪化など、都市問題が深刻化した。都市の近代化による問題の影響を強く受けたのは、経済的に弱い立場にある人々だった。

大阪は明治時代の初期から先進的な住宅政策に取り組んだ。人口増加に伴い、明治時代中頃までは劣悪な環境の長屋が無秩序に建てられていった。

それに対し、1886(明治19)年に大阪府令の「長屋建築規則」が、1909(明治42)年には「建築取締規則」が成立した。

いずれも全国に先駆けて作られた建築物に関する規則であり、建物の構造や衛生面、防火などについて具体的に配慮したものだ。規則によって住宅の質が一定程度以上に保たれることを狙った。

## 社会福祉事業としての住宅政策

「大阪市の住宅政策の特徴は、社会福祉的な事業として取り組まれてきたことにある」と中嶋さんは言う。現在の大

阪市では都市整備局が密集市街地の整備や市営住宅に関する事業などを担い、福祉局ではいわゆる社会福祉や社会保障を担当している。

大阪市政が1889(明治22)年に始まった当初から、工場労働者や困窮者、居住環境の悪化などの対策として社会福祉的な事業に力を入れていた。大正時代に入ると社会事業に取り組みむ救済係が設置され、その後「社会部」となった。

『まちに住まうー大阪都市住宅史』によると「社会部は庶務課・事業課調査課の三課と市民館・児童相談所によって構成され、事業課には住宅係・職業係・児童係があり、事業としての重点は住宅政策や労働政策・児童保護政策にあった」とある。社会部調査課は住宅に関する調査、生活や労働の状況などさまざまな社会調査を行った。

## 月賦分譲住宅 「北畠住宅」の登場

「第一次世界大戦までは住宅の戸数が不足する量的な住宅難でした。その後戦後恐慌が起こると、住宅戸数は足りていても家賃が高すぎて入居できない経済的な住宅難へと状況が変化しました。貸家の維持には費用がかかるため、家賃が下がらず、借家争議が occurred ました」と中嶋さんは語る。

土地区画整理なども進んだ1925(大正14)年に完成したのが「北畠住宅」だ。新開地と呼ばれていた現在の阿倍野付近に、大阪市が建てた分譲戸建住宅群である。家賃の高騰から、持ち家を取得したいと考える人が増加し、それに応じて生まれたのが北畠住宅だった。

北畠住宅は1戸あたりの建坪がおよそ18坪、2階建。屋根の形や扉の装飾、間



あんじゅはウェブサイトでもご覧頂けます。



ご自身で調査をされた大阪市の集合住宅に関する資料も数多く見せてくださった。

の娯楽倶楽部などもあったようです」と話す。

### 不良住宅地区改良事業と近代集合住宅

1923(大正12)年に関東大震災が起ると、大阪には震災から逃れた人々が押し寄せ、人口が210万人を超えてついに東京を抜いた。同年に市長となった関一(せきいち)のもと、第二次市域拡張が実施され、「大大阪」と呼ばれる時代を迎えた。

大正時代に大阪市は社会事業として多くの市営住宅を建設した。拡張した新市街地に新たな住宅を建てるとともに、大阪市が最も重視したのは不良住宅地区の改善をすすめることだった。市営住宅は木造の長屋や戸建住宅などが多かったが、改良住宅として鉄筋コンクリート造の近代的な集合住宅も建てられた。

中嶋さんによると、「大きな街区の道路に面したところは、比較的整然としているが、その内側にある無数の路地には超過密に居住するスラム化したエリアがありました。そこで暮らす人々に、一旦別の場所へ移住してもらい、改良住宅を建ててそこに戻ってもらうという事業」だったという。

### 「下寺住宅」「北日東住宅」「南日東住宅」

満州事変がおこった1931(昭和6)年に完成したのが「下寺住宅」だ。翌年には「北日東住宅」、さらにその翌年に「南日東住宅」が完成した。大阪市の技師として設計に携わったのは、当時日本でモダニズム建築運動を牽引していた建築家たちだった。

デザインの特徴について中嶋さんは「伊藤正文は大阪市立美術館を、新名種夫(しんみよたけお)は大阪電気科学館を手がけた人物です。外観のデザインは水平ラインが強調

され、丸窓や幾何学模様をうまく組み合わせた先進的なモダニズムのデザインでした。一方で居室などは、衛生的で文化的な生活かつ、もとの住人たちが暮らしやすい空間づくりがなされました。長屋を縦方向に積み上げるイメージです」と説明する。

3つの集合住宅はどれも鉄筋コンクリート造の3階建てだった。間取りは3畳と6畳の2部屋を基本として、多くの異なるパターンがあった。各戸に水洗トイレや炊事場があり、風呂は無かった。

住宅全体としては通風や採光に配慮し、1階には店舗付住居もあった。ダストシュートも設置されたが、使い慣

れておらず、湿度の高い風土もありうまく機能しなかったという。屋上に洗濯場があり、物干しや物入れが設置されていた。単身者向け住戸には共同の炊事場やトイレもあったという。いずれも解体され、現存していないが、中嶋さんは解体前の下寺住宅や北日東住宅などの調査に携わったという。「改良住宅での住まい方は時代によって変化していきました。居室が狭いため、市が敷地内に住民用の倉庫を設置した記録もあります。調査では住人が工夫を凝らして住みこなしていた痕跡が随所に見られました」と振り返った。



北日東住宅の1/75模型。縦にまっすぐ伸びる管はダストシュート。直線が強調されたデザイン。発行日(2025.7.1)現在、大阪くらしの今昔館で開催中の展覧会にて展示されている。

取りなどが少しずつ異なっていた。廊下から各部屋へ直接入ることができ、中廊下型が取り入れられ、暮らしやすい間取りとなっている。「購入には一時金420万円程度必要で、当時としては高額でした。中産階級向けとしつつ、所得に余裕がある世帯が購入しました。月賦制で、支払いが完了すると購入者の所有となりました」と中嶋さんは言う。

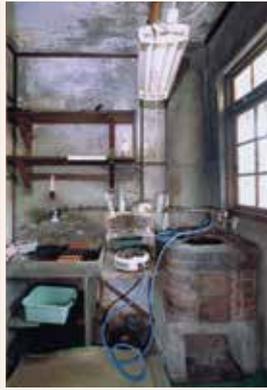
大きな話題を呼び、メディアにも数多く取り上げられ、104戸に対して3000人を超える応募があったという。中嶋さんは「公共が月賦住宅を建てたというのは、日本で初めてのことでした。戸建住宅のモデルとして考えられていたこともあり、入居者が決まるとすぐに大阪市が主導して自治会が立ち上げられました。親睦を深めるため



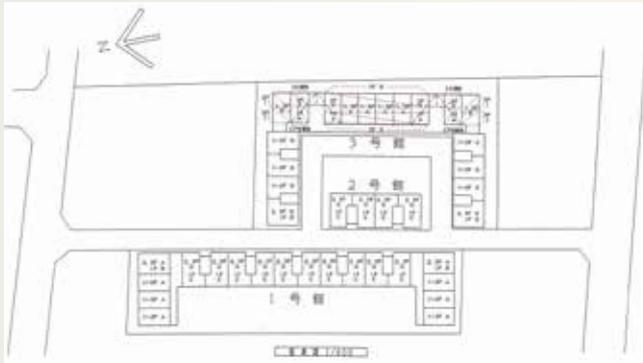
共用トイレなどに設置された丸窓。シンプルだが存在感がある。



南日東住宅の玄関に設置された傘入れと下駄箱。



屋上は洗濯場として使用できた。各戸の炊事場の熱源はガスと薪の2種類(写真左:南日東住宅)だったため、煙突(写真右:北日東住宅模型)がある。煙突のデザインはモダンで特徴の一つ。



北日東住宅の配置図。総戸数126戸、間取りは10パターンあった。2002(平成14)年に解体された。



北畠住宅の調査資料にはメディアの記事なども残されている。販売が決まると多くのメディアが取り上げたという。



大阪くらしの今昔館常設展で展示されている古市中団地の模型

## 戦後の大阪を代表する住宅団地「古市中団地」

第二次世界大戦後は、復興と高度経済成長による市内中心部への人口集中に対応するため、住宅団地が多く建てられた。1953(昭和28)年に建設が始まり、1956(昭和31)年に完成した古市の中団地は大阪を代表する住宅団地の一つだ。大阪くらしの今昔館8階の常設展示室には、当時の暮らしのようすを再現した古市中団地の模型が展示されている。

「設計を担当した久米権九郎は1920年代にドイツで建築を学びま

した。当時のドイツではジードルングと呼ばれる集合住宅が建設されていて、久米も目にしていました。

古市中団地にはその知見と経験が活かされました。街路は自由な曲線を描き、住棟はマルーン色(濃い赤茶色)やブルーなどを取り入れ、色使いもユニークだったようです」と中嶋さん。残念ながら古市中団地も解体されてしまったが、給水塔がランドマークとなっていてとても人気のある団地だった。

「大阪市は社会事業として多様な住宅政策に取り組んできました。時代によって住まいに求める広さや機能は変化しますが、今後も福祉的な視点を踏まえた住宅政策が求められるのではないのでしょうか」と中嶋さんは語った。

\*北日東住宅の模型が展示されている展覧会  
大阪くらしの今昔館  
万博記念展「大坂から大阪 住まいのか・た・ち」  
(2025年4月26日から7月27日)



\*参考資料  
『まちに住まう—大阪都市住宅史』  
(1989年、企画:大阪市、編集:財団法人大阪都市協会/  
大阪市都市住宅史編集委員会、平凡社)  
『住まいのかたち 暮らしのならい  
大阪市立住まいのミュージアム図録』  
(2001年、編集:大阪市立住まいのミュージアム  
(大阪くらしの今昔館)、平凡社)  
「大阪市営北畠住宅について」  
(2001年、中嶋節子・寺田昌代・牧宏美、  
平成13年度日本建築学会近畿支部研究報告集、p925-928)

# 大阪市ハウジングデザイン賞関連イベント 受賞住宅見学会を開催しました!

第37回大阪市ハウジングデザイン賞を受賞した「Brillia Tower堂島」と「カーサ・リベラ -彫刻のある家」の見学会を開催しました。めったに入ることのできない受賞住宅の魅力を実際に体感された参加者のみなさんは、設計者によるポイント解説や、オーナー、入居者の方のお話を熱心に聞き、積極的に質問されていました。



Brillia Tower堂島

開催日:2025年3月15日(土)  
参加者:8名  
解説:株式会社日建ハウジングシステム  
古山さん(設計者)



カーサ・リベラ -彫刻のある家

開催日:2025年3月20日(木・祝)  
参加者:9名  
解説:空間計画株式会社荒木さん(設計者)、  
河合さん(オーナー)、入居者

## 大阪市ハウジングデザイン賞とは

魅力ある良質な都市型集合住宅の供給を促進するとともに、市民の方々や住宅供給に携わる人々に住宅に対する関心を高めていただくことを目的として、昭和62年度から実施しています。住宅とまちとの関係を重視した都市型住宅、既存建物を有効に活用し優れたリフォームやリノベーション等が行われているもの、維持管理が適切に行われ、住宅や住環境が良好に保たれているものなど、提案型住宅やまちと深く関わる住宅を表彰します。

### 第37回大阪市ハウジングデザイン賞表彰式

開催日:2025年2月14日(金) 場所:大阪市役所

第37回大阪市ハウジングデザイン賞表彰式を行いました。

262件の応募の中から、2件が大阪市ハウジングデザイン賞、1件が大阪市ハウジングデザイン賞特別賞(特定の分野において特に優れているもの)を受賞しました。

大阪市ハウジングデザイン賞を受賞した北区の「Brillia Tower堂島」は建物からの眺望と質の高いデザインが評価され、住吉区の「カーサ・リベラ -彫刻のある家」は帝塚山地区に溶け込む設計が評価されました。また、大阪市ハウジングデザイン賞特別賞を受賞した北区の「梅田シティビラアクトⅢ」は、入退去に伴うトラブルを未然に防止する取り組みが評価されました。

選考有識者会議座長の高田光雄氏から「次年度以降、大阪市の都市居住の現状を十分に踏まえた上で、環境的、社会的、文化的持続可能性を追求した提案的住宅や、まちと深く関わる住宅などがより多く応募されることを期待したい」と講評がありました。

【お問い合わせ】  
都市整備局企画部住宅政策課 民間住宅助成グループ  
電話:06-6208-9226 FAX:06-6202-7064

#### ◆ 表彰式の様子



銘板



#### ◆ 受賞住宅



撮影:ナカサンドパートナーズ  
Brillia Tower堂島  
(北区堂島2丁目)(新築・分譲)



撮影:河合止揚  
カーサ・リベラ -彫刻のある家  
(住吉区帝塚山西3丁目)(新築・賃貸)



梅田シティビラアクトⅢ  
(北区堂山町)(維持管理・分譲)

住まいの維持管理  
住まいのリフォーム

住まいの環境は住まう人の心身の健康状態に大きくかわっています。住み慣れた快適な家に長く、安心して住まい続けるためのリフォームや、省エネを意識したリフォーム、空き家活用のためのリフォーム、事業者選定のポイントなどについてご紹介します。

教えてくれたのは

公益社団法人大阪府建築士会  
住宅を設計する仲間連所属  
建築士



すみ なおひろ  
直弘さん

健康的な生活環境をつくる  
省エネリフォーム

近年の夏は酷暑が長く続き、かつ電気代は高くなっています。電気代を抑えるためにエアコンを我慢すれば熱中症のリスクが高まり、とても危険です。一方、寒さにも危険があります。居室と浴室など住まいの中の寒暖差は体に負荷をかけ、ヒートショックを起こす可能性もあります。

住まいの省エネ化と人の健康は密接に関係しており、リフォームによって日々の暮らしがより快適になります。壁や天井、床下をしっかりと断熱することや、浴室暖房・高効率のエアコンを取り入れるといった方法があります。

断熱材の追加は、壁を剥がすなど住まいながらの工事が困難な場合もあります。一方で、取り組みやすい省エネリフォームの一つが、内窓の設置です。比較的施工しやすく、温度変化に加え音も軽減されます。また、空気の質を保つための換気扇には全熱交換

器換気扇を使用すると、暑い／冷たい外気を取り入れずに空気交換をしてくれます。

災害に備えるリフォーム

大阪市では「民間戸建住宅等の耐震診断・改修等補助制度」(※1)を設けています。古い建築基準法が適用された住まいは、かなり地震に弱い場合もあります。特に2000年5月末以前に建てられたものは、耐震診断を受けることをおすすめします。耐震診断の結果によって、耐震改修設計、耐震改修工事を実施することが重要です。

住宅は対象となりませんが、大阪市では2021年12月に発生したビル火災をきっかけに、「既存建築物火災安全対策改修支援事業」(※2)も行っています。避難上有効なバルコニーの設置や直通階段増設等にかかる改修費用の補助です。

省エネリフォームや耐震改修、防火対策は空き家活用のための改修においても重要です。空き家を改修し、賃貸住宅や貸店

舗、貸事務所、地域活動の場などとして活用している事例が多くあります。

リフォームの見積りは細かく確認を

リフォームを決めたら、まずは業者の選定が必要です。リフォーム専門の会社やホームセンター、工務店など様々な業者があります。工事において必須かどうかにかかわらず、建設業許可証／建築施工管理技士／増改築相談員／建築士など、業者ごとに保持する資格や、事業登録の有無を確認しましょう。

トラブルを避けるために、特に大切なのが見積りです。必ず、詳細な項目を提示してもらいましょう。「〇〇一式」といった記載がある場合は、納得がいくまで具体的な説明を聞くことが大切です。契約書や保証内容、アフターサポートの体制なども確認しておくといいです。

2025年4月に建築基準法が改正さ

れました。業者を選ぶ際には、最新の技術や法律に関する知識があるかどうか、要望の聞き取りや提案が丁寧に行われるかといった点も大切なポイントです。

リフォームは建て替えよりもCO<sub>2</sub>排出量を抑えつつ、快適な住まいをつくることのできる方法です。補助金なども活用し、ぜひ取り組んでみてください。

※1 大阪市  
「民間戸建住宅等の耐震診断・改修等補助制度」



戸建住宅等の補助制度のご案内  
耐震診断・設計 改修・解体  
耐震診断 1戸あたり最大 5万円(税込)  
耐震改修設計 1戸あたり最大 10万円(税込)  
耐震改修工事 1戸あたり最大100万円(税込)  
耐震増設工事 1戸あたり最大 50万円(税込)  
大阪府 国土建設部  
大阪府 国土建設部 受付窓口  
06-6882-7053

令和7年度パンフレット(表紙)

※2 大阪市  
「既存建築物火災安全対策改修支援事業」



**住まいをかう・建てる・建て替える・解体する**

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度	初めて住宅を取得する新婚世帯・子育て世帯を対象に、住宅ローンの利子の一部を補助します。なお、予算の範囲内で先着順に受付します。申込みにかかる資格要件につきましては窓口までお問い合わせください。	大阪市都市整備局 住宅支援受付窓口 (住まい情報センター4階) ●TEL:6356-0805●FAX:6356-0808
大阪市子育て安心マンション認定制度	‘子育てに配慮した仕様’と‘子育てを支援する環境’を備えた良質なマンションを認定し、その情報を大阪市ホームページ等で広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648●FAX:6202-7064
大阪市防災力強化マンション認定制度	耐震性や耐火性等建物の安全性に関する基準に適合することに加え、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定し、広く情報発信していきます。	
民間老朽住宅建替支援事業	集合住宅への建替建設費補助	重点対策地区において、昭和56年5月31日以前建築の建物を集合住宅(マンション・アパートなど)に建替える場合、建替費用の一部を補助します。
	隣地を取得した戸建住宅への建替建設費補助	対策地区において、未接道敷地や狭小敷地を解消するために隣地を売買で取得した敷地において、昭和56年5月31日以前建築の建物を戸建住宅に建替える場合、設計・解体費用等の一部を補助します。
	狭い道路に面した古い木造住宅の解体費補助	対策地区において、幅員4m未満の道路に面する昭和25年以前建築(重点対策地区においては、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築)の木造住宅を解体する場合、解体費用の一部を補助します。
防災空地活用型除却費補助制度	重点対策地区において、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築の木造住宅を解体し、跡地を災害時の避難等に役立つ防災空地として活用する場合、解体費用及び空地整備費用の一部を補助します。 ※本制度を活用して防災空地を整備した場合、土地の固定資産税・都市計画税が非課税になります(整備の翌年以降)。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。

**住まいを改修する**

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市耐震診断・改修補助事業	一定の要件を満たす戸建住宅等の所有者等に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事・耐震除却工事に要する費用の一部を補助します。また、木造住宅の所有者等に対して耐震事業者の情報を提供しています。	
大阪市空家利活用改修補助事業	空家の利活用にに向けた安全で良質なストックへの改修を促進するため、住宅の性能向上に資する改修工事や地域まちづくりに資する用途への改修工事等に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口 (住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053●FAX:6882-0877
マンション耐震化緊急支援事業	一定の要件を満たすマンションの所有者や管理組合などに対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。	
ブロック塀等撤去促進事業	道路等に面した一定の高さ以上のブロック塀等の撤去および軽量フェンス等の新設工事に要する費用の一部を補助します。	
大阪市子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業	LDK化や断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事等、子育て世帯等の入居に資する改修工事を行う民間賃貸住宅のオーナーに対して、改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9226●FAX:6202-7064
大阪市住宅省エネ改修促進事業	既存住宅における省エネ性能を向上するため、一定の要件を満たす窓の断熱改修等(内窓設置・外窓交換等)とそれらに併せて実施する躯体等(天井、屋根、壁又は床)の断熱改修、設備等の省エネ改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228●FAX:6202-7064
大阪市地域魅力創出建築物修景事業(修景に関する無料相談など)	建物の修景の促進により地域魅力の創出を図るため、「修景相談」と「修景補助」を実施するとともに、修景された建物等を活かした「魅力発信等」に取り組んでいます。まずはお気軽に建物の修景についてご相談ください(無料)。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631●FAX:6202-7064
高齢者住宅改修費給付事業	介護保険制度の居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給を受ける方が属する世帯等で、生活支援・介護予防の観点から真に住宅改修が必要と認められる世帯の住宅改修費用の一部を給付します。	各区保健福祉センター 保健福祉課
重度心身障がい者(児)住宅改修費給付事業	在宅の重度の身体・知的障がい者、難病患者等の方が、日常生活上の障がいの除去または軽減に直接効果のある改修工事を行うとき、工事費用の一部を給付します。所得制限があります(ただし、介護保険制度が適用される方は本制度の対象となりません)。なお、必ず事前に申請が必要です。	

**分譲マンション管理組合の方へ**

制度名称	制度概要	お問い合わせ
分譲マンション勉強会支援アドバイザー派遣制度	分譲マンションの管理組合等が実施する勉強会を支援するため、講師として一級建築士や弁護士等の専門家を無料で派遣し、一般的なアドバイスを行います。	
分譲マンション管理適正化支援アドバイザー派遣制度	築30年以上で管理に課題を抱える分譲マンションの管理の適正化を支援するため、マンション管理士等の専門家を無料で派遣し、解決に向けたアドバイスを行います。	
分譲マンション長期修繕計画作成費助成制度	長期修繕計画の作成又は見直しを行う管理組合に対して、作成費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1件あたり30万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9637●FAX:6202-7064
分譲マンション再生検討費助成制度	再生(改修や建替え等)に向けた検討を行う管理組合に対して、検討費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1回あたり60万円	
分譲マンション管理計画認定制度	管理運営状況や長期修繕計画など、マンションの管理計画が一定の基準を満たす場合、「マンションの管理の適正化の推進に関する法律」に基づく認定が受けられます。	
大阪市マンション管理支援機構	公共団体や、建築・法律等の専門家団体等が連携して、分譲マンションの管理組合を支援します。登録組合には、セミナーの開催案内や情報誌等を無料で送付します。	大阪市マンション管理支援機構事務局 (住まい情報センター4階) ●TEL:4801-8232●FAX:6354-8601

# 大阪市住まいのガイド

紹介している大阪市の公的賃貸住宅や各種制度について、より詳しくお聞きになりたい方は各窓口にお気軽にお問合せください。



「おおさか・あんじゅ・ネット」からもそれぞれの制度をご覧ください。

## 初めて住宅(新築・中古)を取得する新婚世帯・子育て世帯を対象に住宅ローンの利子の一部を補助します!!

オンライン申請が可能となりました!

窓口にお越しいただくことなく、土日でも申し込むことができます。オンライン申請はこちらから



主な要件

### ◆対象世帯(①又は②)

- ①新婚世帯  
申込者及び配偶者のいずれもが40歳未満であって、婚姻届出の後5年以内の世帯
- ②子育て世帯  
同一世帯に申込者又は配偶者の小学校6年生以下の子どもがいる世帯

### ◆申込期限に係る要件

住宅取得に係る売買契約日の締結日から1年を経過していない方(売買契約から1年を経過していても、融資借入金の返済が開始していない方は対象)

### ◆対象となる融資(住宅ローン)

- 次の要件のすべてに適合する融資
- ・返済期間が10年以上のもの
- ・融資利率が年0.1%以上のもの
- ・本制度の融資取扱金融機関が取り扱うもの(詳しくはホームページをご確認ください)

### ◆補助額

年間最大10万円×最長5年間



#### 【ホームページ】

・制度の詳細はこちら



#### 【申込受付・問合せ】

住まい情報センター4階 大阪市都市整備局 住宅支援受付窓口

電話:06-6356-0805 住所:〒530-8218 大阪市北区天神橋6丁目4番20号(住まい情報センター4階)  
(Osaka Metro「天神橋筋六丁目駅」下車3号出口)

受付時間:平日午前9時~午後5時30分(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休業)

## 住まいを借りる(公的賃貸住宅等)

- **市営住宅** ・住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。原則として大阪市内にお住まいの方が対象です。  
・収入基準は、一般世帯で158,000円以下、高齢者・障がい者世帯等で259,000円以下(月額所得額)となります。

募集種別(募集時期)	概要	お問い合わせ
定期募集等【抽選】 (例年7月上旬、11月上旬、2月上旬)	収入・同居親族等の条件があるほか、一般世帯、若者夫婦・子育て世帯、単身者向け等、各申込区分により申込資格を設定しています。一部の申込区分では、市内在勤の方も申込みができます。	市営住宅募集センター募集担当* ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051
福祉目的募集【抽選】 (例年5月上旬)	ひとり親(配偶者のない方とその子ども(20歳未満)のみで構成する世帯)、高齢者(60歳以上)および障がい者(障がい者手帳(身体・精神・療育)等を所持していること)の方々を対象であり、各申込区分により申込資格を設定しています。申込書類は各区保健福祉センターで配布します。	ひとり親住宅/大阪市子ども青少年局 子ども家庭課 ●TEL:6208-8035 ●FAX:6202-6963 高齢者向け住宅/大阪市福祉局 地域包括ケア推進課 ●TEL:6208-8060 ●FAX:6202-6964 障がい者向け住宅/大阪市福祉局 障がい福祉課 ●TEL:6208-8081 ●FAX:6202-6962
随時募集【先着順、一部抽選】	定期募集等において、応募者が募集戸数に満たなかった住戸について、先着順で随時募集を行っています。募集住戸の追加[例年、年3回(4月・8月・12月)]があり、追加住戸については、抽選で入居者を決定します。	市営住宅募集センター募集担当* ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051

- **中堅層向け住宅** 公営住宅の収入基準を超えている方等、中堅所得者向け賃貸住宅(先着順)です。大阪市内にお住まいの方も申し込みができます。
- **その他の公的賃貸住宅**

住宅種別		お問い合わせ	管理者	お問い合わせ
大阪市管理	市営すまいりんぐ(子育て応援型)・市営すまいりんぐ・市営特定賃貸住宅・市営再開発住宅	市営住宅募集センター募集担当* ●TEL:6882-7012 ●FAX:6882-7051	大阪府住宅供給公社	大阪府住宅供給公社募集グループ ●TEL:6203-5454
大阪市住まい公社管理	公社一般賃貸住宅・公社すまいりんぐ	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-9000 ●FAX:6882-7021	都市再生機構(UR都市機構)	UR梅田営業センター●TEL:6346-3456 空室情報フリーダイヤル:0120-23-3456

\*市営住宅募集センター募集担当とは、大阪市営住宅指定管理者大阪府住宅供給公社市営住宅募集センター募集担当のことで。

## ● 民間賃貸住宅

制度名称	制度概要	お問い合わせ
セーフティネット住宅登録制度	低額所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保に特に配慮を要する方の入居を拒まない住宅として、大阪市内に登録された民間賃貸住宅を、以下のサイトで検索できます。 (セーフティネット住宅情報提供システム) <a href="https://safetynet-jutaku.mlit.go.jp/guest/index.php">https://safetynet-jutaku.mlit.go.jp/guest/index.php</a>	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9222 ●FAX:6202-7064
サービス付き高齢者向け住宅登録制度	高齢者が安心して暮らすことができる住宅として、大阪市内に登録された住宅を、以下のサイトで検索できます。 (サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム) <a href="https://www.satsuki-jutaku.mlit.go.jp/">https://www.satsuki-jutaku.mlit.go.jp/</a>	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度	高齢者、低額所得者、障がい者、外国人、子育て世帯等の入居を拒まない賃貸住宅や、その仲介を行う協力店、入居の支援を行う団体、相談の窓口等が、以下のサイトで検索できます。 (あんぜん・あんしん賃貸検索システム) <a href="http://sumai.osaka-anshin.com/">http://sumai.osaka-anshin.com/</a>	大阪府 居住企画課 ●TEL:6210-9707 ●FAX:6210-9712

# 大阪市立 住まい情報センターのご案内

## ●住まいに関するご相談をお受けしています **無料**

### ■住まいの一般相談（随時／窓口相談・電話相談）

公的賃貸住宅などの住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てるときの一般的な注意点、分譲マンション管理に関する情報や大阪市を中心とした住宅施策などに関するご質問に、窓口または電話で相談員が対応します。まず相談内容をお聴きして、問題点の整理・解決のために必要な知識や情報を提供します。英語、中国語、韓国・朝鮮語にも対応します。（外国語対応は17時まで）

**相談専用電話 (06) 6242-1177**

### ■住まいの専門家相談（予約制／面接相談） ご予約は30日前からお受けしています。

お申込みに際しては、相談員が一般相談で内容をうかがってから予約します。詳しくはお問い合わせください。

専門家相談日時	内容	
<b>住まいの法律</b>	おおむね 毎週土曜日 (10時～13時30分)	借家・借地・土地・建物・相続等に関する法律上の相談(弁護士)
<b>住まいの資金計画</b>	おおむね 月1回土曜日 (10時30分～12時)	住宅取得やローン返済、高齢期の住まいと暮らしに関する資金計画等(ファイナンシャルプランナー)
<b>建築・リフォーム</b>	おおむね 隔週土曜日 (10時～13時)	建築設計や施工上の問題・建築関係法令等(建築士)
<b>分譲マンション(法律)</b>	月1回日曜日 (13時～16時)	管理組合運営・管理規約等に関する法律上の相談(弁護士)
<b>分譲マンション(管理一般)</b>	おおむね 毎週木曜日 (14時～18時)	管理組合運営・管理規約・長期修繕計画等に関する相談(マンション管理士)

### ■連携機関による定期相談（面接相談）

（公社）大阪府建築士会による建築相談：  
毎週日曜日13時～16時（受付は当日の12時30分～15時30分）  
※12時30分に相談を受ける順番の抽選があります。

近畿税理士会による税務相談（予約制）：  
毎週土曜日（但し、2・3月を除く）13時～16時  
（TEL.06-6242-1177で予約受付）

## インフォメーション



### 交通アクセス

- Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅下車3号出口直結
- JR大阪環状線「天満」駅から北へ約650m
- お車でお越しの場合は阪神高速道路「守口線」長柄出口 都島通り経由、約500m

### 開館時間

- 4階 住情報プラザ（相談・ライブラリー）  
平日・土曜日/9:00～19:00  
日曜日・祝日/10:00～17:00
- 3階 ホール/5階 研修室・会議室  
平日・土曜日/9:00～21:00  
日曜日・祝日/9:30～17:00

### 休館日

- 火曜日（祝日の場合は翌日）
- 祝日の翌日（日曜日、月曜日の場合を除く）
- 年末年始（12/29～1/3）
- ※上記のほか臨時休館する場合があります。

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 大阪市立住まい情報センター4階  
TEL.06-6242-1160 FAX.06-6354-8601  
おおさか・あんじゅ・ネット <https://www.osaka-angenet.jp/>



4階 住まいのライブラリー



### ●住まいのライブラリーで図書・雑誌などをご利用いただけます

住まいや暮らし、大阪に関する図書、建築本や雑誌、機関誌、ミニコミ誌、企業広報誌、絵本などを自由に閲覧していただけます。また、図書の貸し出しも行っていただけます（一部を除く）。**無料**

### ●ホール・研修室をイベントや展示会・サークル活動・会議・研修会の場としてご利用いただけます **有料**

3階 ホール



定員：椅子のみの場合/300席（常設194席）  
机利用の場合/150席  
※控え室もあります。

5階 研修室



定員：机利用の場合/常設54席  
椅子のみの場合/70席  
※研修室は区切って、少人数でもご利用いただけます。

# MESSAGE メッセージボード BOARD

## 令和7年度チャレンジタイアップ事業の実施団体のお知らせ

ユニークなテーマや仕掛けのあるセミナーを協働で実施いただける団体を募集し、右記の団体が採択されました。

- 募集時期: 令和6年9月1日から  
令和7年1月13日
- 審査日: 令和7年2月19日

※住まい情報センターと住まい・まちづくりに取り組むNPOや専門家団体等が連携・協働するセミナー・イベントを通して、市民の皆様の住環境の質や大阪の居住地魅力の向上を図るタイアップ事業を実施しています。

※やむを得ない状況により、セミナーを中止する場合がございます。その場合は「おおさか・あんじゅ・ネット」等でお知らせします。

応募団体名	応募タイトル名
大阪府住宅リフォームマイスター制度推進協議会	もう迷わない リフォーム事業者選び
(一社)日本清掃収納協会	少しでも長く住み慣れた自宅で生活出来る片づけ、清掃、生前整理の自立支援型のお部屋作り ～在宅介護の限界を超える～
(一社)おひとりさま相続	おひとりさま、高齢者の「相続」 「住宅に関する税金」を考える
リユース相談本舗	『家族と未来を考える』生前整理 &買取/リユースセミナー

## 建物の修景のご相談をお受けしています 無料

### ● 修景の事例

外観の特徴を活かした改修や、まちなみに配慮した整備等、市内の建物の「修景」に関することならどんなことでもご相談ください。また、修景工事費の一部を補助する制度(要件あり)もがございます。まずはお気軽にお問い合わせください。

#### ● 修景相談の例

- ・昔の雰囲気を残しつつ、傷んだ外観を整えたい。どの部分をどう活かしたらいいのだろう。
- ・建物全部を修景するのは大変そう。ちょっと直すだけでもいいのかな？

【お問い合わせ】  
大阪市都市整備局まちなみ環境グループ  
TEL:06-6208-9631



#### まんだいけじゅうたく 萬代家住宅 (阿倍野区)

- ・和洋折衷形式で建てられたモダンな近代住宅の再生活用に向けた修景
- ・外壁、建具の塗替え、和風高塀の焼杉板の張替え等



#### にしすみのえにちようめながや 西住之江2丁目長屋 (住之江区)

- ・地域に新しい風景を創り出した洋風長屋の継承に向けた修景
- ・バルコニー、玄関、窓などの再現や外壁の塗替えなど



大阪くらしの今昔館8階常設展示室には当時の西住之江長屋群をモデルとした模型を展示しています。

# 大阪市立 住まい情報センター セミナー・イベントガイド 2025年

※やむを得ない状況により、定員の変更やセミナーを中止する場合がございます。その場合は「おおさか・あんじゅ・ネット」等でお知らせします。

## 1 住まい情報センター 主催イベント

住まい情報センターが主催するセミナー・イベントです

### ■住まいの基礎知識セミナー

#### ◎住まいの防災(全3回)

##### 第1回 自然災害から家族や住まいを守る「風水害に備える」

- 日時：7月5日(土)13:30~15:30
- 場所：3階ホール
- 講師：宮野道雄(大阪公立大学都市科学・防災研究センター客員教授)
- 定員：会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

##### 第2回 自然災害に強い住まいをつくる「住まいの耐震」

個別相談のみ当日抽選

- 日時：7月26日(土)13:30~15:30
- 場所：3階ホール
- 講師：(公社)大阪府建築士会耐震インスペクション委員会
- 定員：会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)
- 個別相談：定員あり(事前申込要)

##### 第3回 自然災害と損害保険「住まいに関する保険」

- 日時：8月30日(土)13:30~15:30
- 場所：3階ホール
- 講師：(一社)日本損害保険協会近畿支部
- 定員：会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

#### ◎住まいの維持管理(全4回)

##### 第1回 メンテナンス編

##### 「戸建住宅のメンテナンス」

- 日時：9月13日(土)13:30~15:30
- 場所：3階ホール
- 講師：NPO法人日本ホームインスペクターズ協会近畿エリア部会ホームインスペクター
- 定員：会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

### ■住まいのワークショップ

#### 親と子の都市と建築教室2025

##### 「まちつく万博~未来につながるまちをつくらう~」【2日連続講座】

小学生対象

- 日時：一日目：8月2日(土)13:00~17:30  
二日目：8月3日(日)10:30~16:30  
※二日目はお昼休憩(60分)があります。会場内で昼食をおとりいただくことはできません。
- 場所：3階ホール
- 定員：各回30名  
※小学生・保護者同伴(申込多数の場合抽選)
- 申込締切：7月19日(土)
- 共催団体：(一社)日本建築学会近畿支部・(公社)大阪府建築士会

## 2 住まい情報センター タイアップイベント

住まい情報センターと住まい・まちづくりの専門家団体等が共催するセミナー・イベントです

### ■タイアップ+Plusセミナー

#### マンションに住んでいる君と住みたい君へ！ゲームで楽しく学ぼう マンション まるわかり ミッション(MMM)スタート！

小学生対象

- 日時：7月27日(日)13:30~15:30
- 場所：3階ホール
- 講師：特定非営利活動法人 集合住宅維持管理機構のマンションドクター(一級建築士)
- 定員：30組
- 持ち物：筆記用具
- 団体：特定非営利活動法人 集合住宅維持管理機構

#### キッズデザインワークショップ「わたしのあかり」

小学生対象

- 日時：8月9日(土)  
一回目/10:30~12:30  
二回目/14:30~16:30
- 場所：3階ホール
- 講師：(公社)日本インテリアデザイナー協会会員
- 定員：会場各回 30名(保護者もしくは大人同伴・申込先着順)
- 持ち物：2Lのあきペットボトル、クレヨン、はさみ、など
- 団体：(公社)日本インテリアデザイナー協会会員

## 3 その他 住まい関連イベント

### ■大阪市マンション管理支援機構 ミニ交流会(年3回)

- 日時：第1回 7月9日(水)・第2回 9月18日(木) いずれも19:00~20:20
- 場所：大阪市立住まい情報センター 5階研修室
- 定員：各回とも10名
- 申込締切：第1回 7月2日(水)・第2回 9月11日(木)

### マンション管理フェスタ 2025

- 日時：9月23日(火・祝) 12:00~16:00  
詳細が決定次第、ホームページ等で発表します。
- 場所：大阪市立住まい情報センター 3階ホール
- ご自由にご参加ください。

## 参加申し込み方法

- ウェブサイトからの申し込み  
申し込みは開催日の約2カ月前からになります。
- はがきまたはFAXで申し込み  
記入事項を明記し、下記の住所、FAX番号へお申し込みください。  
〒530-8582(住所不要)大阪市立住まい情報センター4F  
FAX:06-6354-8601
- 記入事項：イベント名、住所、名前(フリガナ)、年齢、参加希望日、電話番号、手話通訳希望の有無、個別相談希望の有無など
- 参加費は特記以外無料、要事前申し込み。申込先着順の場合は、定員になり次第締切。抽選の場合は、締切後も定員に満たない場合は引き続き募集します。
- 申し込みの際の個人情報は、主催者で適切に管理し、イベントに関する連絡、統計データおよびイベント保険(必要な場合)への加入にのみ利用します。
- 午前8時45分時点で、「暴風警報」が発令されている場合は中止とさせていただきますが、セミナー開始3時間前までに解除された場合はセミナーを実施します。
- 手話通訳をご希望の方は開催2週間前までにお問い合わせください。
- オンライン受講を希望される方はウェブサイトからお申し込みください。

### 【注意】

一部のイベントを除き、参加証の発送はありません。「申込先着順」のイベントにお申し込みいただいた場合は、イベント開催当日、直接会場にお越しください。「抽選」の場合に限り、はがきがEメールで当落をお知らせします。

おおさか・あんじゅ・ネット  
▶<https://www.osaka-angenet.jp>



**あんじゅ読者アンケートにご協力ください!!**

みなさんのお声をさるなる紙面づくりに活かします。

**ぜひご登録ください。**

メルマガにご登録頂きますと、住まい情報センター主催のイベント情報が登録メールに配信されます。



**あんじゅバックナンバーはこちらから**



あんじゅ  
編集通信

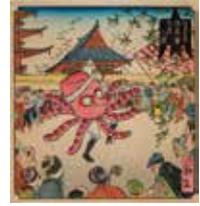
今号の表紙は、大阪くらしの今昔館が制作した、大阪市営北日東住宅の模型を撮影したものです。北日東住宅が竣工した昭和7年は、大都市大阪であっても住宅は木造の長屋や戸建住宅が当たり前で、まだ和服で生活する人も多かった時代です。そんななか、これほど大規模でモダンな集合住宅の登場は、驚きをもって迎えられたことでしょう。道路に立つ三人の男性は竣工した住宅を確認しに来た大阪市の技師たち、一人だけ小柄な人物はこの近所に住む男の子という設定があるそうです。「おっちゃんたち何してるん？この建物は何？」という興味津々な少年の声が聞こえてくるようです。

万博記念展

「都市の祝祭 - 造り物から博覧会へ賑わうまち大阪 -」

江戸時代の大阪では遷宮の際に造り物と呼ばれた飾りや社寺の境内で芸や技の披露が繰り広げられ、活気をもたらしていました。明治期には大阪で第五回内国勧業博覧会を皮切りに数々の博覧会が開催され、大きな経済効果と新しい技術や産業の発展、意識の高揚に寄与しました。博覧会に伴って町を整備することで、国際的都市としての成長を遂げてきました。それらを「都市の祝祭」として位置づけ、時代の様相を探ります。

- ◆会 期：令和7年8月9日～10月19日
- ◆休 館 日：毎週火曜日(9月23日は閉館)、  
常設展の展示替に伴う  
会期中の休館：9/8(月)～9/13(土)
- ◆主 催：大阪くらしの今昔館
- ◆観覧料：1,000円(企画展のみ)



「四天王寺彼岸会 たこたこの図」  
2代長谷川貞信 昭和12年(1937)  
郷土研究「上方」第75号表紙より 当館蔵

常設展

■夏祭りの飾り

令和7年4月20日(日)～9月7日(日)

■商家の賑わい

令和7年9月14日(日)～令和8年4月上旬まで

イベント

■七夕の笹飾り

7月5日(土)～7月7日(月)

願い事を書いて笹に飾りませんか??

■大阪欄間を彫ろう

8月3日(日) ※要事前申込、要材料費

①12:30～14:00 ②15:00～16:30

※申込締切:7月18日(金)必着

・大阪欄間の説明や伝統工芸士によるミニ欄間作りの指導を行います。

・指導:大阪欄間工芸協同組合伝統工芸士

・詳しくはホーム

ページを

ご覧ください。



■第20回子ども落語大会出場者募集

8月24日(日) 12:00～17:00(予定)

※申込締切:8月4日(月)必着

・申込者多数の場合抽選

・対象:中学生以下の方

・開催場所:大阪市立住まい情報センター3階ホール

・審査員:上方落語協会所属の落語家

・詳しくはホームページを

ご覧ください。

・当日は一般観覧席も

ございます。(先着順)



■乙女文楽

9月21日(日) 14:00～15:00

・女性一人が一人の人形を操る人形浄瑠璃です。

・出演:乙女文楽座



ワークショップ

夏のものづくり体験

■版木で多色版画を刷ろう

7月12日(土) 13:30～15:00

・材料費:200円 人数制限なし

■金魚を作ろう

7月13日(日)

13:30～15:00

・材料費:200円

・当日先着16名



■ミニすだれを編もう

7月26日(土)、8月23日(土)

13:30～15:00

・材料費:200円 当日先着20名

■折り染め体験

8月9日(土)

13:30～15:00

・材料費:200円

・当日先着20名



■オリジナルミニ色紙を作る

8月10日(日) 13:30～15:00

・材料費:200円 当日先着16名

■万華鏡作り

9月14日(日) 13:30～15:00

・材料費:200円 当日先着16名



■万博記念展関連ワークショップ  
ミニ大工体験と木の継ぎ方クイズ

9月20日(土) 13:30～15:00

・人数制限なし



■ミニわらじ作り

9月27日(土) 13:30～15:00

・材料費:200円 当日先着20名

■おじゃみ作り

7月6日(日)、9月7日(日) 13:30～15:00

・材料費:200円 当日先着15名

■折り紙を折ろう

8月16日(土) 13:30～15:00

・材料費:100円 当日先着16名



■鶴のつなぎ折り

7月20日(日)、9月21日(日) 13:30～15:00

・材料費:100円 当日先着16名

■簡単折紙

毎月 第4水曜日 14:00～15:30

・材料費:100円

見て聞いて楽しむ

■上方ことば塾

毎月 第2日曜日

14:30～15:00



■今昔語り

毎月 第3日曜日

14:30～15:00



■紙芝居

毎月 第1土曜日 14:30～15:00

毎月 第3日曜日 11:00～12:00

■絵本の時間

毎月 第4日曜日 14:30～15:00

■芝居語り

毎月 第4日曜日

①13:00～ ②14:00～ ③15:00～

大坂について学ぶ

■町家ツアー

平日・土曜日 10:20～

日曜日・祝日 13:10～



■町の解説

毎月 第1・3日曜日

13:00～15:00

※入場料(常設展)が必要です。

※費用の記述がないものは参加無料です。

※材料費は、当日お支払いください。

※日程等、予告なく変更になる場合がありますので予めご了承ください。

※定員があるイベントは8階受付で12時から参加券を発行します。

※ワークショップは定員に達し次第終了します。

大阪市立住まいのミュージアム  
大阪くらしの今昔館 



【9階なにわ町家の歳時記】

江戸時代の大阪の町並みを実物大で再現。大通りには、風呂屋や本屋、薬屋などが並び、ひときわ高い火の見櫓も。路地を抜けると裏長屋の庶民の生活をかきまみることができます。



【8階モダン大阪パノラマ遊覧】

近代大阪の代表的な住まいと暮らしをジオラマや資料で再現。

開館時間

10:00～17:00 (入館は16:30まで)

休 館 日

火曜日(祝日は開館) 年末年始 その他臨時休館あり

7/1. 8. 15. 22. 29
7月～9月の休館日
8/5. 12. 19. 26
9/2. 8～13. 16. 30

入 場 料

一 般 600円/団体500円(20人以上)

高・大生 300円/団体200円(20人以上)

※中学生以下、障がい者手帳・ミラロID原本等持参者(介護者1名含む)、市内在住の65才以上無料(要証明書原本提示)

※企画展示の観覧料は別途必要です。

交通機関

●Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電車『天神橋筋六丁目』駅下車3号出口より住まい情報センター建物の地階へ連絡、エレベーターで8階へ

●JR大阪環状線『天満』駅から北へ約650m

〒530-0041

大阪市北区天神橋6丁目4-20(住まい情報センタービル8階)

TEL:06-6242-1170 FAX:06-6354-8601



今昔館から天満天神繁昌亭へ

**増井** 子ども落語大会が今年で20回を迎えます。学光さんの提案がきっかけで始まり、第1回からずっとかわってくださっています。

**学光** 今昔館を盛り上げていくという会議に招かれた時でした。今昔館には落語に出てくる江戸時代の大阪の町が実物大で再現されていますよね。当時、すでにプロの落語家が今昔館で落語会をやった実績もありました。それなら、この場所でも私たちの落語大会をしたらどうかと提案しました。大会を今昔館で開催し、入賞したら繁昌亭(\*)に出てもらおうと。

**増井** 繁昌亭の舞台上がれるというのは、この大会の醍醐味ですね。

**学光** そうですね。今昔館での大会で入賞すると、繁昌亭に上がれます。プロの落語家のために作られた舞台上で落語をするというのは、この大会でしかできない経験です。

ちょうど繁昌亭がオープンしたのが平成18(2006)年9月で、翌月には第1回大会に出場した子どもたちがその舞台上に上がりました。それから20年、子ども落語も繁昌亭も同じだけ歴史を重ねています。

**増井** 私も審査員として参加していますが、学光さんはじめプロの落語家が真剣に審査してくださっている。子どもたちも一生懸命です。特に、私は親御さんの熱心さに毎回胸が熱くなります。

**学光** 子どもたちの熱意はもちろんすごいですが、親御さんたちも負けてないですね。落語ができるようになってもいい大学に行けるとは限りませんよ、と僕は言うんですが……。

対談

## 好きと熱意と一緒に つくってきた落語大会

—大阪くらしの今昔館 子ども落語大会の20年—



聞き手  
ますい まさや  
**増井 正哉**  
(大阪くらしの今昔館館長)



落語家  
しょうくわい がっこ  
**笑福亭 学光**さん

「大阪くらしの今昔館 子ども落語大会」は、平成18(2006)年に始まりました。今年、令和7(2025)年に第20回を迎えます。今では子ども落語の登竜門的な存在となった大会を、笑福亭学光さんと増井館長が振り返ります。

艶話も酒飲みの話も面白い

**増井** 回を重ねる中で、変化したと感ずることはありませんか？

**学光** 変化はありますね。最初は出場者のほとんどが小話だったんです。回を重ねるごとに古典落語や新作落語といった本格的な話が増えてきました。大きな話を、制限時間内にまとめる力もある。すごい才能です。

**増井** 珍しい古典落語を発掘してくる子どももいますね。

**学光** 艶話をしたり、酒飲みの話を選ぶ子どももいて、それがまた面白い。しかも、指導者に習った通りにやるのではなくて、自分のアイデアや工夫を加えている。「このやり方はおもしろいな」と、しょっちゅう感心しています。プロが見てもすごく勉強になる。

**増井** お茶屋遊びを上手に演じたりしますね。

**学光** 小さい子どもが「お前はなんかいな、ママ、こっち入り」とやるのもいいですね。年中か年長さんで、首を左右(上下)に振らず、ずっと正面向いて落語をしゃべっている子どもさんもいます。ネタもよくわからないのですが、出てしゃべっているだけで笑えます。

全員が一体となってつくりあげてきた

**増井** 今昔館の子ども落語が定着してきて、登竜門のようになってきたことは嬉しいですね。

**学光** やっぱ、繁昌亭に上がれるというのが他の大会との大きな違いですね。繁昌亭ではお囃子

てんまてんじんはんじょうてい

\* 天満天神繁昌亭は、大阪市北区天神橋二丁目にある寄席。上方落語の定席の一つで、落語を中心に、漫才・太神楽・手品・腹話術などの色物芸の興行が連日執り行われている。通称「繁昌亭」。

も生演奏の本物ですし、すごくいい経験になると思います。子ども落語のファンになったという人もいますし、プロの落語家もこっそり聞きに来ています。

**増井** 応募用紙にあるコメント欄には「繁昌亭目指して頑張ります！」今年も今昔館で落語をするために一年間がんばりました」と、思いの丈が素直に綴られています。講評の時には、会場中が集中して聞いていますよね。

**学光** 講評では動きとか、間とか技術的なことを伝えていきます。大会から繁昌亭に出るまでの間に、もう一段上手くなっている。自分で考えて、練習を重ねて、努力して、一生懸命なのが伝わってくるんですよ。

**増井** コンテストなので競い合いなんだけど、すごく一体感があります。

**学光** 子どもだけじゃなくて、親御さんも、裏方も全員でつくりあげている大会です。最初は笑ってくれるかなと不安もありましたが、「こんなふうけるんか！」と驚くほど笑い声があがります。子どもたちの一生懸命さも伝わるし、演者も観客も楽しんでるからでしょうね。

その分、毎回の審査はめちゃくちゃ難しいです。繁昌亭に出られなくて悔し涙を流す姿は忘れられません。

### 次の世代につないでいく

**増井** 大会に出て、「落語の友達を増やしたいです！」という子もいます。参加者のみなさんが交流しているのもいいですよ。

**学光** 関西以外からも参加してくれるので、子ど



第18回の優勝者、ほしぞら亭きらりさん。見台を使う出場者もいます。



第19回大会の優勝者、おむすび亭しおしお丸さん。準優勝のたけのこ亭さと丸さんと姉妹揃っての入賞。



第3回大会のようす。今昔館9階の町家に高座をつくっていた頃はこんな雰囲気でした。



笑福亭学光賞を受賞(第19回)した、にじいろ亭火花さん。子どもたちの高座名にも個性が光ります。



入賞者記念公演は天満天神繁昌亭で。憧れの舞台上がりプロもうなる落語を披露します。(第19回大会のようす)

室に入りきらないんです。今後も繁昌亭との連携や、今昔館の江戸時代の大坂の町並みを体験してもらおう工夫などは考えていきたいですね。これからもよろしく願っています。

#### ※第20回子ども落語大会

(住まい情報センタービル3階ホール)  
2025年8月24日(日)  
※入賞者記念公演(天満天神繁昌亭)  
2025年10月5日(日)  
どちらもどなたでもご覧いただけます(入場無料)



※半券提示でお得に入場・入館できます!  
天満天神繁昌亭×大阪くらしの今昔館  
【チケ得】



もたちは各地の仲間と落語を通してつながりができますね。何度も出場する子もいて、家族ぐるみで仲良くなっていたり。中学3年生になると「今までお世話になりました」と卒業の挨拶をしたりね。

**増井** この大会に出た後、プロになったり、アマチュアで落語を続けている人もいます。

**学光** プロの落語家になったのは笑福亭白翔さんや、桂文りんさんとか、数名いらつしやいます。彼らもそうですが、中学生になるともう大人の貫禄が出てきますよね。

**増井** 今後、大会に出た子どもさんが結婚して、その子どもさんが出場する可能性もあります。

**学光** 楽しみですね。大会に出たことでもっと落語が好きになったり、家族や友達が落語に興味をもったり、繁昌亭にも足を運んでくれる人が増えたら嬉しいですね。子ども落語大会も、落語も次の世代へつないでいきたい。

それと、始まりの頃のように今昔館の展示室でまたやりたいですね。あの座敷で町の中に溶け込んで落語をやるというのがとてもよかったです。

**増井** そうですね、コロナ禍以降は3階のホールに変わって、今は参加者も増えたこともあり展示室に入りきらない

行つて、  
見て、  
発見 

大阪における博覧会のはじまり

「第五回内国勸業博覧会明細図」

服部 麻衣 (大阪くらしの今昔館学芸員)



図「第五回内国勸業博覧会明細図」 東新太郎著刊 明治36年(1903年)  
大阪市の市章である「滯標」がタイトル枠の意匠として横向きに配置されている

現在開催中のEXPO2025大阪・関西万博では、日本全国および世界各国から大阪に人と物が集まり、文化交流が行われています。明治36年(1903)に初めて

大阪を会場に開催されたのが「第五回内国勸業博覧会」です。内国勸業博覧会は外国の新技術の紹介と国内産業の発展を目的に政府直営で行われました。天王寺を第一会場、堺の大浜を第二会場とし、国内の農水産物、工業品、美術品のほか世界18カ国から、最新技術の粋を集めた自動車など、27万点を超える出品がありました。

この会場図には、黒丸に白抜き文字で「いろは順」に見学順路が示され、中央の工業館、農業館、水産館、林業館からスタートし、右側の動物園や海外の展示館、奥の美術館と大林高塔、そして最後に左側のウォーターシュートや不思議館などを巡るコースになっています。また、左枠外には

第二会場の堺水族館、右枠内には、「聖徳太子千三百年御聖忌」に向けて鑄造され、この博覧会で披露された四天王寺大釣鐘が描かれています。

当時の大阪市の人口は約100万人。博覧会の5か月の間に会場には435万人が訪れ、大変な賑わいだったことでしょうか。前年に発行された「大阪と博覧会」では、交通案内や博覧会紹介に加え、大阪の歴史や気候、市政・商工業・市中の見物、府下の名所旧跡など幅広く解説され、博覧会による波及効果の広がりを感じます。経済効果も大きく、その後も大阪では大小数々の博覧会と冠した催しが開催されることとなります。

本資料は万博記念展「都市の祝祭―造り物から博覧会へ賑わうまち大阪―」で展示します。ほかにも大阪で開催された博覧会の資料が並びます。ぜひご覧ください。